

第5回薄膜太陽電池セミナー

第5回薄膜太陽電池セミナーを、名古屋大学・野依記念学術交流館にて開催いたします。本セミナーは、産官学の研究者、技術者が一堂に会して、薄膜太陽電池の基礎から応用までを集中的に議論する年に1回のセミナーです。本セミナーは“アモルファスセミナー”をルーツに持ち、約40年もの歴史をもっています。本セミナーは薄膜太陽電池に関する様々な材料を用いたアプローチやそのデバイス・システムについて、学生から専門の方、他分野の方にも理解できるようにプログラムを工夫しています。今回は、本分野を代表する錚々たる方々に講演をしていただくとともに、ポスターセッションを通して、多様な観点から知識を得る機会を作りました。最先端の研究開発動向を把握するのみならず、チュートリアル等を通して、基礎から学べる素晴らしい機会ですので、多くの研究者・技術者・大学院生、さらにはビジネスやイノベーションを探索されている方などの参加をお待ちしております。

- 日程：2013年11月14日（木）、15日（金）
- 場所：名古屋大学・野依記念学術交流館 <http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/>
(名古屋地下鉄名城線・名古屋大学駅 2番出口より徒歩5分)
 - 参加費：一般12,000円、学振175委員会員7,000円、学生2,000円
 - 意見交換会費：3,000円
 - 参加申込み：9月27日（金）締切り（定員に達し次第、受け付けを終了します）

主催：第5回薄膜太陽電池セミナー実行委員会

共催：日本学術振興会 産学協力研究委員会「次世代の太陽電池発電システム175委員会」

名古屋大学プラズマナノ工学研究センター、名古屋大学プラズマ医療科学国際イノベーションセンター

協賛(予定)：応用物理学会 東海支部・プラズマエレクトロニクス分科会・薄膜・表面物理分科会・応用電子物性分科会、プラズマ技術産業応用センター、プラズマ・核融合学会、第131委員会「薄膜」・第153委員会「プラズマ材料科学」・第154委員会「半導体界面制御技術」新学術領域研究「プラズマとナノ界面の相互作用に関する学術基盤の創成」新学術領域研究「プラズマ医療科学の創成」

問い合わせ先：第5回薄膜太陽電池セミナー実行委員会・事務局

URL: <http://www.plasma.engg.nagoya-u.ac.jp/thinfilm2013/>

e-mail: thinfilm2013@plasma.engg.nagoya.ac.jp

11月14日（木）

基調講演：元廣友美（名古屋大学）「次世代太陽電池：現状と展望」

チュートリアル：大下祥雄（豊田工科大学）「結晶シリコン太陽電池研究開発の現状と課題」

招待講演：藤原裕之（岐阜大学）「分光エリブソメトリーを用いた太陽電池構造評価」

財満鎮明（名古屋大学）「新しいIV族多元混晶の結晶成長と太陽電池応用への期待」

峯元高志（立命館大学）「カルコゲナイド薄膜太陽電池の高効率化設計」

若手ポスター発表、意見交換会

11月15日（金）

チュートリアル：宮島晋介（東工大学）「シリコン系ナノワイヤー太陽電池の現状と課題」

招待講演：増田淳（産総研）「薄膜太陽電池モジュールの信頼性」

宇佐美德隆（名古屋大学）「ナノ構造体・結晶シリコン融合太陽電池」

寺川 朗（パナソニック）「パナソニックの太陽電池技術開発」

板垣奈穂（九州大学）「ZnInON系太陽電池材料の探索」

天野 浩（名古屋大学）「化合物半導体系太陽電池の現状と窒化物太陽電池の可能性」

片桐裕則（長岡高専）「CZTS 薄膜太陽電池の高効率化に向けた試行錯誤」

白谷正治（九州大学）「プラズマ気相粒子制御によるシリコン薄膜太陽電池の高効率化」

尾坂 格（理化学研究所）「有機薄膜太陽電池の高効率化に向けた半導体ポリマーの開発」

寺崎一郎（名古屋大学）「光を使う熱電変換：熱電変換と光電変換の融合に向けて」

若手ポスターアワード授賞式

組織委員長：近藤 道雄（産業技術総合研究所）

実行委員長：堀 勝（名古屋大学）、実行副委員長：宮崎 誠一（名古屋大学）、伊藤 貴司（岐阜大学）